



もっと知ってほしい 武雄の畜産

豚

PORK

TAKEO'S FARM
10,465 頭飼育 / 6 軒の農場

養豚とは、豚を飼育し、食肉となる肉豚や繁殖のための種豚^{しゅとん}を育てる仕事です。豚はとてもデリケートな動物で病気にもかかりやすいため、健康状態や豚舎の衛生状態には常に気を配る必要があります。出産からトータルで約180日かけて出荷されます。



養豚(若楠ポーク)農家
若木町 大久保 栄喜さん

若楠ポーク おいしさの秘訣

50年ほど前に父親が若楠ポークとなる豚の飼育を始め、現在は私と父親の二人で母豚約80頭を中心に飼育しています。若楠ポークの特徴は、柔らかく臭みが少ないところや、ビタミンBなどの栄養価が高く、脂肪の色など見た目が綺麗なところ。産まれてから出荷されるまでの半年間、若木の水など6種類の決まったエサを決まった時期に与えることが美味しいお肉になるためのポイントですね。豚は肺やお腹が弱く病気になるやすい動物です。夏は暑さによって食欲が落ちて太らなくなってしまうため、密にならないうように飼育したりなど温度管理に気を付けています。



もっと知ってほしい 武雄の畜産

牛

BEEF

TAKEO'S FARM
乳牛 171 頭飼育 / 3 軒の農場
肉用牛 3,184 頭飼育 / 95 軒の農場

牛を育てる仕事は、乳牛を飼育して牛乳を生産する「酪農家」とお肉となる牛を育てて出荷する「繁殖農家・肥育農家」があります。繁殖農家は、お肉になる子牛を生産する農家で、肥育農家は、繁殖農家から子牛を買ってお肉になるまで育てる農家です。



繁殖牛農家
北方町 山口 良一さん

大切なのは観察力

私が小学生の時に父親が繁殖農家を始めました。幼少期から牛に馴染みがある私ですが、2年前までは畜産試験場に勤務していました。働きながら家畜人工授精師や受精卵移植などの資格を取得し、昨年からは農場で働き始めました。現在、親子合わせて83頭の牛を飼育しています。子牛は免疫力の弱さにより病気になるやすいため、床を綺麗に保つこと、日頃からよく観察して小さな変化も見逃さないことを大切にしています。一方で親牛は、分娩時に事故が起きやすいため、分娩が近くなるとお腹の張りや尻尾の動きに注意して観察しています。年に30頭ほど生まれる子牛たち。無事に生まれてくれて、無事に大きく育ってくれた時が何よりも嬉しいですね。

自分の手で より良い牛を

繁殖農家は、血統や系統の情報を見ながら、相性のいい牛を交配させます。親の遺伝によって大きく育たない牛もいるため、受精卵移植を自ら行う、少しでも良い牛に育つように工夫しています。来年あたりには小屋を拡大し、牛を20〜30頭増やす予定です。休みもほとんどなく大変な仕事ではありますが、武雄市の畜産業をもっと盛り上げるため頑張っていきたいですね。飼料の価格高騰により頭を抱える農家さんが多いはず。市民の皆さん、佐賀県産の牛肉をいっぱい食べて応援してください！



愛され続ける 若楠ポーク

豚たちが病気になる事もなく大きく育ってくれた時が一番嬉しいですね。また、物産まつりや若木町のふれあい祭りで若楠ポークをふるまった際に、皆さんから直接「美味しい」と言ってもらえると原動力に繋がります。武雄市民の方々が若楠ポークに好印象を持ってくださっていることがありがたいです。昔から若楠ポークを愛してくださっている方は今後も愛し続けて欲しいと思いますし、まだ食べたことがない方はぜひ食べてみて欲しいです。畜産農家は休みもなく大変な部分もありますが、消費者の笑顔を見る度にとってもやりがいのある仕事だと感じます。これからも消費者の方へ感謝の気持ち忘れず頑張っていきたいですね。

